

JICAボランティアとして海外へ!



9月25日(金)、国際協力機構(JICA)のボランティアとして、ニカラグアへ派遣される浜端喬さんが佐喜眞市長を表敬訪問しました。浜端さんは9月からの2年間、青少年活動のボランティアとして派遣されます。浜端さんは「これまでの経験を活かして、途上国の教育改善に少しでも力になりたい。また、沖縄県出身として沖縄文化の発信もしていきたい」と語りました。

十五夜、大謝名の獅子舞!



9月27日(日)、大謝名区公民館にて「豊年祭-獅子舞い」が開催されました。伝統芸能を大切に、地域の厄払いと健康祈願のため開催されています。大謝名獅子舞保存会による獅子舞い演舞のほか、古典演奏、子ども会エイサーなど多彩な演目が披露され、会場に訪れた区民は大いに盛り上がりました。

こみゆにてい見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

赤い羽根共同募金がスタート!



10月1日(木)、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」がスタートしました。「地域から孤立をなくそう～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～」を全国共通助成テーマに、さまざまな福祉活動を支援していきます。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

九州マーチングコンテスト出場報告



9月30日(水)、第25回九州マーチングコンテスト・中学校の部に県代表として派遣される真志喜中学校マーチング部の皆さんが市役所を訪問し、出場報告を行いました。「九州大会では県大会よりも良い演奏、演技ができるよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

牧水慕情 贈呈式



9月14日(月)、伊是名興正さんと島袋正雄さんの共同制作による詩曲「牧水慕情」の贈呈式がありました。伊是名さんは「実兄が戦時中に学童疎開でお世話になった宮崎県日向市(旧:東郷町)へのお礼と、日向市と本市の交流の懸け橋になれば」と語りました。作品は、宮崎県日向市の若山牧水記念文学館と市民図書館へ寄贈されます。

高齢者交通安全講習会



9月29日(火)、秋の全国交通安全運動の一環として、高齢者交通安全講習会が伊佐区老人クラブの皆さんを対象に、宜野湾自動車学校で開催されました。講習会では自動車学校職員や宜野湾警察署員からの講話に加え、自動車や人形を使って巻き込み事故防止などの体験学習を行い、高齢者の事故防止について理解を深めました。

地域の子どもたちへ遊具を寄贈



9月29日(火)、サンフティーマの運営・管理を行っている(株)ティ・エム・オ普天間(與那嶺務代表取締役)が、普天間小学校へ「逆上がり補助ベルト」、普天間第二小学校へ「ソフトバレーボール」の寄贈を行いました。地域への日頃の感謝と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年取り組みを継続しています。

洋式トイレをプレゼント



9月16日(水)、学校のトイレを清潔で利用しやすいと大阪市の小林製薬株式会社から、長田小学校に洋式トイレを贈りました。用便しやすい環境を整えることを目的に毎年、全国の小学校に洋式トイレを贈呈しています。贈られた新しいトイレに、児童の皆さんは喜んでいました。

第9回はごろもウォーキング大会



10月10日(土)、「第9回宜野湾市はごろもウォーキング大会」が宜野湾市立海浜公園を発着点に、盛大に開催されました。当日は、小雨が降るあいにくの空模様でしたが、多くの皆さんが、海浜公園の周辺を元気に楽しくウォーキングしました。

綱引き交流会、BBQ開催



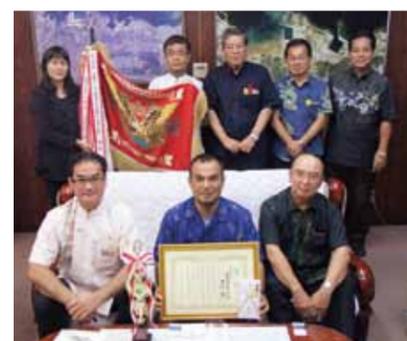
9月12日(土)、「綱引き交流会・会員交流バーベキュー」(主催:市国際交流協会)が開催されました。綱引きでは、会員と外国の方がチームを組んで対戦し、日本の文化を体験しました。綱引き後のバーベキューでは、スペインや韓国の文化についての紹介などもあり、参加者は交流を深めました。

人権について考えよう



9月14日(月)、志真志小学校で人権擁護委員による人権教室が開かれました。この教室は子どもたちに他人を思いやる気持ちや、人権の大切さに気付いてもらうために行っています。今回ははじめに関するDVDを見たあと、ワークショップを通じて登場人物の気持ちや、感じた事などを次々に発表しました。

県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会



10月9日(金)、第57回県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会で最優秀賞に選ばれた上間齊さん(宜野湾高通信制3年)が宜野湾市役所を訪れ、11月22日に東京都で開催される全国大会への出場報告を行いました。会社の経営者である上間さんは「10代の頃高校生活を挫折した。再び挑戦し苦しいこともあったが、学ぶ楽しさや喜びを感じることができた」と語りました。

防災行政無線放送が屋外放送後24時間以内において確認できます。 ☎ 896-2401